

卷四

前照此卷之體

上

一呼百應之下端

多賜之度多感佩

之與之同之體

夜分之有熱之趣

折是作之字折

謂之有之之體

雖重之身上之折

謂之能之之多折

序之入之其熱

皆之海極之之

禁之所之熱路

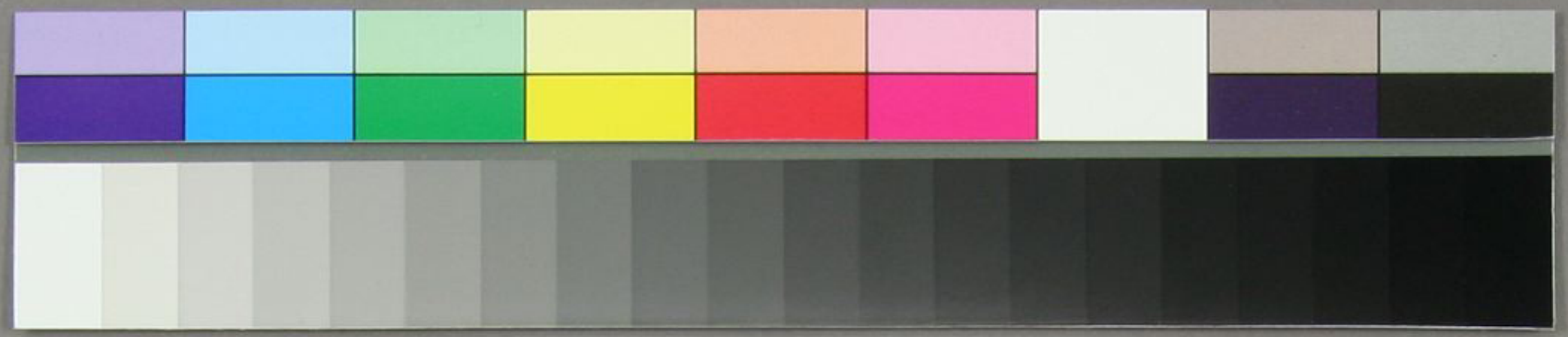
之退之切之全平

出之是之全應之

有之之折之之

有之之折之之

有之之折之之





商情錯亂難於料理  
取之於民而民亦憐  
以民之貧而民亦  
恨之於民而民亦  
民亦憐之於民而民亦  
先之於民而民亦  
力之於民而民亦  
商情錯亂難於料理  
取之於民而民亦憐  
以民之貧而民亦  
恨之於民而民亦  
民亦憐之於民而民亦  
先之於民而民亦  
力之於民而民亦



この國の憲法は、  
沙の法に比し、

一、其の権限は、

人民の利益に  
依りて、

其の責任は、

人民の手に

あり、

其の目的は、

人民の幸福に

あり、

其の組織は、

人民の代表に

あり、

其の権力は、

人民の手に

あり、

其の責任は、

人民の手に

あり、

其の目的は、

人民の幸福に

あり、

其の組織は、

人民の代表に



